



F L O R A L M U S E U M N E W S

花の美術館だより



1999. WINTER
Vol
9

特集 [個性豊かな花との暮らし]

企画展示会へのご招待



スタンドグラス展

花の美術館では、フラワーアレンジなど花に関する作品を展示しています。約2週間ごとに展示が替わり、1年間で約30の企画展示があります。この展示は、主にフラワーカレッジ講習会の先生方の作品を中心に、1階の多目的室で開催しています。

それでは、これまでの企画展示の中からいくつかご紹介いたします。

●フラワーデザイン展：物語風に童話の世界を植物で表現しています。たとえば、「ハーメルンの笛吹き」は、ピーナッツに手足を付け



フラワーデザイン展（ハーメルンの笛吹き）

て子供たちが行進しています。ウクライナ地方の民謡で「てぶくろ」は、人が入れる位の大きくなってぶくろで、いもの蔓で作っています。

●ラベンダー祭り特別展：羊のぬいぐるみの中にラベンダーをつめた眠れる羊、卵のポマ



和紙ちぎり絵展

ンダー（香り玉）、ラベンダー染めのシルクストールなど夢のある展示をしました。

●押し花アート展：四季折々の草花、思い出の花を額絵にしました。いつまでも色が美しく残る特別な技術を使っています。

●和紙ちぎり絵展：草花の額絵の他にも短冊や絵葉書など、いろいろなものを使って、生活の中で一番身近な花をテーマにちぎり絵を創作しています。

●樹脂粘土展：特殊な粘土で作った四季を彩る花の展示です。樹脂粘土は、非常に薄く、びび割れがしない優れた特徴を持っています。

●石粉粘土展：人形と花、あけびのつるや粘



押し花アート展



樹脂粘土展（体験講座）

土で作ったかごに花やフルーツアレンジした作品などが飾られています。石粉粘土は、粘土に石粉を混ぜ合わせたもので、独特の色づけやアンティークな雰囲気を楽しめます。

●洋ラン展：中南米原産のカトリア類、オンジウム類、東南アジア原産のデンドロビウム類で飾られました。

●花の美術館写真展：他の企画展示と異なり、一般募集したもので、花・風景・人物などをモチーフに、館内や館周辺で撮影された写真を展示しました。

その他にも、スタンドグラス展、フラワーアレンジメント展、アメリカンフラワー展、サボテン・多肉植物展、盆栽展などどれも工夫を凝らした多様な展示がされています。



石粉粘土展

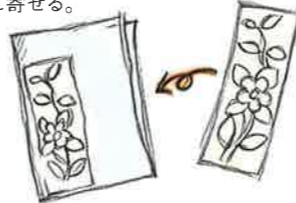
FROM FLOWER COLLEGE フラワーカレッジから 四季の様々な花を美しく表現する 和風 椿の花の短冊 ちぎり絵

ちぎり絵は、やわらかな色調で染められた和紙を用い、ちぎる事で生まれる優しく繊細な風合いをいかして、四季の様々な花を美しく表現します。今回は9月18日におこなわれた、寺田揚子先生の講座より、手漉き和紙による、ちぎり絵の基本的な作り方をご紹介します。

＜基本的なこと＞

和紙には繊維の縦横があります。端を少しちぎって長く続けてちぎれるのが縦方向です。縦方向にちぎると繊維がきれいにそろいますので、茎や葉の長辺は縦にちぎると良いでしょう。

1 下絵を透明ファイルにはさむ。この時ファイルの背につくように端に寄せる。



2 下絵に合わせ、最初は茎からちぎっていきます。和紙は両手の親指と人差し指でちぎっていきますが（細かいところは爪を使う）、折り目を入れたり、爪で跡を付けるとちぎりやすい。細い茎は更に軽くこより状にします。葉はあらかじめ和紙を大体の大きさに四角く切ってから下絵に合わせ、爪で跡を付けるとちぎりやすい。その時ほんの少し大きくする。



リンドウ



コスモス

- 材料
- 花びら …… 赤色の手漉き和紙(中)
 - 花しん …… 黄色の手漉き和紙(小)
 - 葉・茎 …… 緑色の手漉き和紙(中)
 - 下絵 …… 透明ファイル
 - のり(でん粉のり)
 - お手ふき・水
 - 筆(繊維を揃えたり最後に水を付けて定着する時に使う)
 - 楊枝(細かいところの修正などに使う)
 - ドライヤー(最後に乾かすため)
- 台紙 …… 短冊
- 額 …… 短冊用の簡単なもの

3 葉と茎が全てちぎり終わったら、透明ファイルの上から下絵に添って、のりを付けていきます。はじめは茎から貼っていきますが、貼る時は爪先や楊枝で繊維や細かいところをならしながら整えていく。葉も同様に茎に被せながら貼っていく。



ツバキ

4 茎と葉を貼り終わったら次に下絵をずらし、花びらと花しんをちぎっていきます。花しんは黄色と緑色の白い部分と濃い部分を使います。そして③のずらした下絵の透明ファイル上から、のりを付けて貼っていきます。この時、花びらは奥から重なるようにしていきます。

5 絵の部分が全て貼り終わったらドライヤーで乾かし、ファイルから静かに絵を形ごと剥します。それを台紙にのせ、位置バランスや繊維の最終調整を行ない、上から水を含んだ筆で全体を軽く押さえていきます。台紙からはみ出たところは後ろに回し、これで出来上がりです。乾いたのりが水を含んで台紙に定着します。最後に乾かしてから額に入れて飾りましょう。



できあがり

●講師 佐藤せつ和紙ちぎり絵千葉分教室 寺田揚子

外は花の寂しい季節ですが、室内は一年でもっともはなやかな時も知れません。ラン、

【みどりの豆知識】

ポインセチア、プリムラなど、その筆頭がシクラメンといえるでしょう。

シクラメンはCyclamen、これはギリシャ語の円を意味するKyklosからきており、英語のCycle＝サイクルにも通じています。シクラメンと円との関係、それは球根が丸いからとか、葉が丸いからとかいわれますが、もっとも有力な説は花が終わると茎がらせんを描いてその先端に実をつけることに由来するということのようです。和名はボタンマンジュウ、ボタンがこの球根を掘り出して食べるのだそうです。牧野富太郎博士はこの花にすてきな名前をつけました。カガリビバナ…、燃えるような赤色の花はまさに篝火(かがりび)のようです。

買う時は葉がたくさんあって、間延びしていないしっかりした株を選びます。葉が多ければそれだけ花もたくさん咲きます。

年末に購入して上手に育てる



シクラメン

と5月まで咲き続けます。それには明るい窓辺に置いてときどき鉢を回します。まんべんなく日に当てること

とつぼみの発生がよくなり、株もしっかりします。また、半年近くも咲くので、土も球根も疲れ切ってしまう。週に一度の液体肥料やりを忘れないで元気をつけてあげましょう。薄いのはかまいませんが、濃い肥料をあげてはいけません。先週忘れたから、と次の週に濃いのをあげて補う、などはとんでもないことです。花が咲き終わったらなるべく早く抜き取りましょう。茎をもってひねると簡単に取れます。実をつけさせると株は急速に弱まります。水やりが大切なのももちろんです。乾かして一度でも萎れさせると、長持ちしなくなります。

鉢植えのシクラメンは耐寒性はありませんが、暖房の強いところもよくありません。最近では外花壇用に寒さに強いシクラメンが改良されて出ています。香りのあるミニシクラメンもあります。楽しみ方も多様になってきました。翌年も咲かせたいときは鉢のまま夏すっきり乾かして休眠させる方法と、夏中水やりを続ける方法がありますが、いずれも、9月に新しい土に植え替えをします。うまく夏越しできれば球根はさらに大きくなるはずですよ。

みどりの相談受付中!!

緑についての相談は『みどりの相談員』がお答えいたします。相談は電話でも受け付けます。花の美術館 ☎043-277-8776 都市緑化植物園 ☎043-264-9559

Information

[インフォメーション]



花の美術館フローラルクリスマス

花の美術館は一定先にクリスマスイベントが始まります。見たり作ったり、楽しさいっぱいの体験ができます。

11/16▶12月末

アトリウムフラワーガーデン「クリスマスメモリー」
美しく飾られたクリスマスツリーやポインセチアで楽しいクリスマスを演出します。

11/25▶12/25

みんなで作るクリスマスツリー
花の美術館アトリウム入口にツリーが登場。松ぼっくりの飾り付けができます。

12/12・12/19

松ぼっくりでミニツリーを作ろう
各日先着100名。受付時間は両日とも午前10時から11時半、午後1時から3時まで。材料費100円。花の美術館花工房で。松ぼっくりをモミの木に見立てて、ツリーを作ります。

アトリウムフラワーガーデン予定

花の美術館アトリウムでは、季節の花々による室内花壇をご覧いただけます。

🌸 **1月4日～1月30日まで**

シンビジウム、デンドロビウムなどの洋ランとプリムラ、スイセンなどの花々が新春を飾ります。

🌸 **2月1日～2月27日まで**

ムスカリ、ヒアシンス、クロッカスなどの花が、やわらかな春を演出します。

🌸 **2月29日～4月中旬まで**

マーガレット、チューリップ、プリムラなど、春を代表する花が咲き誇ります。

企画展示予定(多目的室)

11/23～12/ 5	ホワイトクリスマスークリスマスリース展
12/ 7～12/12	クリスマスのパッチワーク展
12/14～12/28	夢のあるX'masプレゼント
1/ 4～ 1/16	植物種子写真展
1/18～ 1/23	花の写真展～花々のひとときを求めて～
1/25～ 1/30	花とテーブル展
2/ 1～ 2/13	ヴァレンタインとプライダルフェア展
2/15～ 2/27	樹脂粘土展(夢のひな祭り)
2/29～ 3/12	"自然そのままに" ピュアフラワー展
3/14～ 3/26	花の写真展～花めぐり～

フラワーカレッジ予定表

日程	講座名	講師名	材料費	申込受付期間
12月18日(土)	お正月用ウエルカムボードの作り方・飾り方	本城 保子	3,000円	H11年11月15日～25日
12月23日(木)	お正月用テーブル門松作り	野村 和子	600円	"
12月24日(金)	親子で作るX'masケーキ	梨子本雅秋	2,000円	"
1月 8日(土)	手まり(八重菊パートⅡ)	富田 達	1,800円	"
1月15日(土)	お祝いに贈るブーケ(バスケットアレンジ)	大槻 順子	2,300円	H11年12月15日～25日
1月22日(土)	花鉢に描くトールペイント	古館由紀子	2,000円	"
1月23日(日)	季節の花を寄せ植える(早春編)	野村 和子	2,000円	"
1月29日(土)	ワインボトルのためのコサージュ	小滝 洋子	2,000円	"
2月 5日(土)	押し花のランプシェード	宮崎久美子	2,000円	"
2月12日(土)	ヴァレンタインのアレンジメント	下村 紀子	2,000円	"
2月19日(土)	粘土のおひなさま	勝守 康美	2,000円	H12年1月15日～25日
2月26日(土)	おひなさまのアレンジ	太和田貴子	2,300円	"
3月 4日(土)	手ひねりでミニ花器を作る(陶芸)	山下 一步	2,000円	"
3月11日(土)	ドライフラワーをミニグラスにアレンジ密封	伊坂八千代	2,000円	"
3月18日(土)	鶯草を球根から育てる	福田 洋	2,000円	H12年2月15日～25日
3月25日(土)	手作りバスケットに春色の花をアレンジ	大沼 直子	2,000円	"
3月26日(日)	親子で作るフラワーアレンジメント(就学前児童)	森島 正子	2,000円	"
4月 1日(土)	春色のフラワーアレンジメント	岡田 好美	2,000円	"
4月 8日(土)	純銀のペンダント(アートクレイシルバー)	阿部 敦子	2,500円	"

- 募集人員/各20名 ●場所/花の美術館1F「花工房」 ●時間/13:00～15:00
- 応募方法/往復ハガキに希望講座名(1通につき1人1講座)、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢、返信の宛先を明記し下記宛先へ。(応募者多数の場合抽選)
- 宛先/〒261-0003 千葉市美浜区高浜7-2-4 花の美術館フラワーカレッジ係
- ※募集案内は「ちば市政だより15日号」に毎月掲載しています。上記の予定は予告なく変更することがあります。必ず「市政だより」で確認してから応募してください。

表紙作品

「フラワーリース」

花の美術館フラワーカレッジ講師
ハーブクラフトデザイン モト工
渡辺基江



千葉市 花の美術館

FLORAL MUSEUM

開館時間◎9:30～16:30
休館日◎毎週月曜日
(月曜日が休日の場合はその翌日)
および12月29日～1月3日

入館料◎大人200円、小・中学生100円
団体割引(30名以上) 大人 160円
小・中学生 80円
年間パスポート 大人 1,000円
小・中学生 500円
(1年間本人に限り何回でも入館できます)

交 通◎JR総武線「稲毛駅」西口よりバス利用◎番
「高浜車庫」または「花の美術館」下車、JR
京葉線「稲毛海岸駅」南口よりバス利用◎
番「海浜プール入口」下車
東関東自動車道「湾岸習志野インター」(東京
方面)、「湾岸千葉インター」(成田・木更津方
面)から国道357号線経由

お問合せ◎千葉市美浜区高浜7-2-4(稲毛海浜公園内)
TEL.043-277-8776 FAX.043-277-8674